

=====

【ソフト名】番号案内掲示板PLUS

【バージョン】Ver.260E2

【使用プログラム言語】C#

【ソフト種別】フリーウェア

【動作確認OS】Windows10、Windows11

【必要なもの】.NET Framework4.7.2以上、デュアルモニター環境

場合によりマイクロソフトアカウント、OneDrive、ネット環境

【転載・二次配布】不可

【免責事項】このソフトは無償・無保証・無サポートです。

またマニュアルに記載した事項も無サポートで一切の責任をもちません。

【メール】msbunakisa@outlook.jp

【著作】gaku

=====

### 【番号案内掲示板PLUS Ver.260E2について】

番号案内掲示板としてフル版とLight版の2つをVectorにアップしていましたが統合してPLUS版としました。

同様のソフトを2つVectorにアップしていたのは、フル版をGoogle Chromeでダウンロードする際に“一般的でないファイルなので…”の警告がでるためでした(ダウンロードは可)

原因を推測しやすようとシンプルなLight版を作成し試行錯誤したのですが原因を特定するには至りませんでした。そこで、これを諦め2つを統合することにしました。

これが思いのほか両者の特徴を引き継いだグラフィカルで多機能なものになりました。現在、私の環境で警告は出ていませんが悪意のあることはしていない証明になればと

ソースコードを公開し同封します。プログラムに使用した言語はC#です。

今回のバージョンアップは操作タイプ追加型の4種で不具合が見つかり、その対応版です。

機能に小さな変更はありますがバグフィックス以外は前バージョンとほぼ同じものです。

引き続きチャイムの音欠け対策ツールを同封します。

「音欠け対策ソフト」SilentPlayerKKTは以下からもダウンロードも可能です。

Vector内で SilentPlayer KKT をキーワードに検索すれば出ると思います。

ソフト名 SilentPlayer KKT 2.1WS

場所 Windows10/8/7/Vista/XP/2000/NT > 画像&サウンド > その他

使用の際はSilentPlayer KKTのマニュアルを参照してください。

(“チャイムの音欠け”の症状がない場合は使用の必要はありません)

### ●最近のバージョンアップについて

○操作卓「手動型4分割」を作成しました(下図は患者用画面)



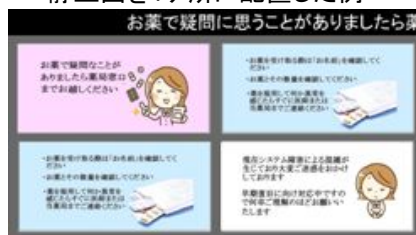
画面を4分割し番号・静止画・連続画像・動画を配置できます(上図は4種を配置した例)

連続画像と動画は1ヶ所にしか配置できませんが番号と静止画は4ヶ所全てに配置ができます。

番号を4ヶ所に配置した例



静止画を4ヶ所に配置した例



- スクロール速度の**停止**を作りました。  
スクロールが必要のない短い文章のときや  
一番上の図の「お薬の引き換え番号」ように  
見出しをとして使うことができます。



- 操作卓タイプの待ち番型、追加型、手動型で「大きい文字」を作成しました。(計3タイプ)  
(患者用画面)



- 患者用画面の**大きな文字**を最優先とした割り切った操作卓です。  
表示可能な番号は4つで、待ち番号または追加番号は3つしか表示できません。  
スクロール文も表示できません。  
上下のコメントは各々1行(設定のコメント1と2が対応)に制限しサイズを大きくしました。  
他の機能は「待ち番型」、「追加型」、「手動型」各々とほぼ同様です。

- 動画(mp4ファイル)**を再生できるタイプの操作卓を用意しました。(Ver.260B)  
一本の動画または、複数の動画のループ再生が可能です。  
動画はユーザー様が作成するなどしてご用意ください。  
映像は解像度にかかわらず比率を変えずに表示可能な最大サイズに拡大・縮小し  
患者用画面の約4割を使い表示します。また操作卓にも縮小表示されます。  
動画のストップ・再生・消音・消音OFFが可能です。

操作卓画面



患者用画面



○画像(jpgファイル)を表示する機能の一部変更をしました。(Ver.260B)

下の画像(患者用画面)のように画面の右半分に画像を表示します。

前バージョンまで使用していた画像は作り変える必要があります。



- ・上図左では文章を画像にして表示しています。1枚の画像を継続して表示します。画像は3枚を設定できその中から選ぶことになります。画像はユーザーが作成できます。
- ・上図右は連続画像表示の例です。何枚の画像でも連続再生します。ファイル名の昇順にループ再生されます。また1枚あたりの再生秒数を指定可能です。ここでは写真を例にしましたが患者様への情報を紙芝居形式に作成すれば連続再生で情報提供ができます。作成に関しては後述【その他のインストール関連】も参照ください。

○手動型系の入力で「矢印キー」を使えるようにしました。(Ver.260B) これによりキーボードから手を離さずに入力ができます。もちろんマウスを使つての入力も可能です。矢印キーを押すと黄色い枠が動きます。入力したい枠でEnterを押すと入力モードになり電卓がアクティブになります。数字を入力しEnterを押せば電卓が閉じます。このまま次の入力を続けるか「掲示板に反映」ボタンを押せば患者画面に表示されます。



#### ●このソフトの機能や特徴

病院の薬局前によくある引換番号を表示するソフトです。薬局の他、会計でも使えるかもしれません。

新たに「手動型4分割」と「大きい文字」3タイプを加え、操作卓は17種類になっています。

- ・操作卓タイプとして待ち番型、追加型、手動型、各々画像表示と動画表示があります。利用には**2画面が必要**です。(操作PC用と患者用)
- ・番号は開始番号を設定することで「1番から9999番」まで可能です。待ち番型では出来上がりが遅れている番号を大きい数字から8つまで表示可能で追加型では追加出来上がり番号を小さい番号から8つまで表示可能です。(一部を除く)
- ・Picture表示3タイプでは複数画像の連続表示や一枚の画像の持続表示が可能です。
- ・設定により、表示コメントや音、スクロール文章、点滅回数他を変更可能です。
- ・待ち時間の表示が可能です
- ・スマホで番号を確認できます。(OneDriveの設定が必要です)
- ・操作卓PCの一部に患者用画面が縮小表示されます。下図左の矢印。  
(縮小表示する機能は**モニター1台のお試しモード**では番号・コメントが**表示されません**)  
この画像は「スマホで確認機能」を使用時にスマホに表示する画像と同一です。  
注意: 数字が点滅中に決定ボタンを押すとうまくキャプチャーできない場合があります。



- ・チャイム音をユーザーが追加できます。
- ・チャイム音の先頭が0.5秒程度欠ける場合に対応します。上図右

・チャイム音の先頭が欠ける問題について。

このソフトに限らずWindowsからHDMI経由でテレビに音を出力すると、場合によっては再生直後の0.5秒程度だけ音が出ないことがあるようです。  
この症状は必ず起きるわけではなく、ちなみに私の環境では起きません。  
これを解決するには無音を常に出しておけば良いようなので、無音を再生し続けるソフトを作り対策としました。上図右(SilentPlayer KKT)  
無音ソフトはタスクトレイ起動をします。必要に応じスタートアップに登録してください。  
スタートアップに登録するときsetup.exeを実行すると登録(削除)を簡単にできます。

- ・患者用モニターは解像度1366x768と1280x720に対応します(操作PCは1366x768以上)

余談)最近購入したノートPCがWindowsの設定で患者用モニターを1366x768

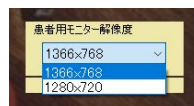
の解像度に設定できませんでした(1280x720は可)

本ソフトは患者用画面を1366x768に合わせて

作っていたため、あわてて1280x720用をつくり

ました。右図は本ソフトの設定画面の一部を切り

取ったものです。ここで解像度を選びます。(他に患者用モニターのWindows設定も必



- ・表示数オーバーで表示されない数字があると追加型、待ち番型で警告をだします。(追加型の場合)

追加型は番号を次のように表示します。「2番までできました。さらに4番5番・・・もできています。」ただ、追加番号を表示する小さい枠は8個しかありません。もしも8個をオーバーした場合は小さい番号が優先され、大きい数字は表示されません。

右図は追加型:



●追加枠8個をオーバー時の具体例

上図で3番の黄色ランプが点灯しておらず、1番から見て最初の未完成番号となります。4番から12番は完成しており追加番号となります。故に2番が大きい枠、4から12番が小さい枠8個に順次入ります。しかし11番(矢印B)で枠8個がいっぱいとなり12番(矢印A)は患者画面に表示されません。このようなときオレンジの背景で警告をだします。(矢印C)矢印Dは矢印Cの拡大図です。"12番から表示されません"と表示されています。もしも開始番号を1001番～としていれば"1012番から表示されません"と警告がでます。同様に待ち番型でも表示されない番号がある場合は警告をだします。



## 【使用にあたり最低限必要なもの】

### 1)デュアルモニター環境

★★デュアルモニター環境が必須です。★★ モニター1台でも起動はしますが、実用性はありませぬ。(患者用画面と操作用画面が重なってしまいます)

モニター1台でも起動するのは機能確認のお試しモードとして用意しています。

### 2) .NET Framework4.7.2以上 が必要。Windows10以上なら標準で入っていると思われます。

### 3)スマホで確認機能を使う場合はマイクロソフトアカウントとOneDrive、ネット環境が必要です。OneDriveはWindows10以上なら標準で入っていると思われます。

以下の9つを同じフォルダに置くことが**最低限必要**です。

KenKenTyuPLUS260E2.exe	このソフトの実行ファイル。ダブルクリックでソフト起動。
configPLUS260.ini	設定ファイル
sample.wav	標準のチャイム音
Scroll_Text200.html	スクロール文のファイル
direction_board.jpg	「スマホで確認」でソフト終了後にNET上に表示する画像
AxInterop.WMPLib.dll	.NET FrameworkでMedia Playerを利用するためのdll
Interop.WMPLib.dll	.NET FrameworkでMedia Playerを利用するためのdll
imgFolder	連続再生時の画像を入れる <b>フォルダ</b>
mp4Video	動画を入れる <b>フォルダ</b>
以上です	

＜補足＞・direction\_board.jpgをKenKenTyuPLUS260E2.exeと同じ場所に置くことを動作条件としています。「スマホで確認機能」を使わぬ場合でも必須です。ただし画像を作り変えてもOKですが、ファイル名はdirection\_board.jpgである必要はあります。

・連続画像表示のためのフォルダimgFolderは(注意:**フォルダ**です。ファイルではありません)中身が空っぽでも構いませんが、KenKenTyuPLUS260E2.exeと同じ場所に置く必要があります。後述する「その他のインストール関連」も参照ください。

・同様に**動画**を入れておくフォルダがmp4Videoです(注意:**フォルダ**です。ファイルではありません)中身が空っぽでも構いませんがKenKenTyuPLUS260E2.exeと同じ場所に置く必要があります。「その他のインストール関連」も参照ください。

＜同封したSilentPlayer KKT 2.1WSについて＞

SilentPlayerKKT21.exe 無音を再生する実行ファイル(チャイムの音欠け対策)

silent.wav 無音の音源

setup.exe スタートアップへの登録、削除が容易にできます。

チャイムの音欠けが**ある場合**のみ使用しスタートアップに登録します。その際 setup.exeを使用すると容易に登録、削除が可能です。タスクトレイにアイコンが表示されます。

## 【PCの設定】

・PCと患者用モニター(TVでも可)をHDMI等でケーブルで繋ぎます

・**患者用モニター**をWindowsから「画面を拡張する」にしてください。

・次に**PC(操作卓側)**の解像度を**1366\*768**または、それ以上(1600x900や1920x1080)に設定してください。1366x768より解像度が高いと余白が出ますがマウスの動作範囲は小さくてすみます。

PC側の拡大と縮小は100%にしてください。それ以外ではレイアウトがずれる場合があります。

・**患者用モニター**の解像度をWindowsのディスプレイ設定で**1280x720**または**1366x768**に設定して下さい。患者用モニターは上記どちらかの解像度が**必須**です。拡大と縮小は100%にしてください。

・次に、このソフトの設定で＜図16＞⑪患者用のモニター解像度を設定してください。**患者用モニター**の解像度はWindowsで設定したものと、このソフトで設定する解像度

表示スケールの詳細設定

ディスプレイの解像度

● 1920 × 1080 (推奨)

1680 × 1050

● 1600 × 900

● 1366 × 768

1280 × 1024

● 1280 × 720

1024 × 768

800 × 600

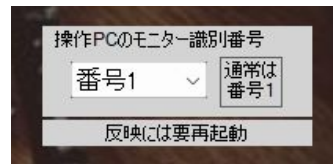
抽出

と同じにする必要があります。＜図16＞⑰参照

- 患者用モニターのタスクバーを非表示にしてください。方法は調べて下さい。  
さらにスリープOFF、モニター常時電源ON、不要な通知のOFFなどの設定が必要です。  
**スリープ移行抑止、モニター常時電源ONをプログラム上で組み込みましたが**  
念のため手動で設定することを推奨します。(通知OFFなどは手動設定が必要)
- タスクバーにあるスピーカーマークをクリックし再生デバイスを選択します。  
ここでチャイム音をTVから出すかPCから出すのかを指定します。外部スピーカー  
をPCに接続しこれを指定する場合はヘッドフォンを選ぶことになるかもしれません。

### 【その他のインストール関連】

- PCの構成によって稀に操作卓PCモニターが識別番号2、患者用モニターが識別番号1になることがあります(Windows仕様)この様な場合に患者用画面には何も表示されません。  
これは患者用画面と操作卓画面が重なってしまうためですが、このことが原因  
ならば以下の操作で改善します。  
本ソフトの設定から右図にある「操作PC  
のモニター識別番号」を「番号2」  
に変えて本ソフトを再起動してください。



- チャイム音をサンプルとして1つ付けました。(自宅の玄関チャイムの音を加工)  
この他に2つの音を追加できますがフリー音源の多くが二次配布禁止または不明のため添付できません。ユーザー様にご用意ください。その際は利用規約を遵守ください。  
音源を再生できるのは**WAVのみ**です。MP3などは変換が必要です。  
MP3→WAVの変換はネット上のサイトやツールで可能です。  
ファイル名は必ずchime10.wav、またはchime20.wavにしてKenKenTyuPLUS260E2.exe  
と同じフォルダに置いて下さい。

フリーの音源はジングルやチャイムとしてWEB上に多数あります。

＜参考＞以下のVSQplus+様のジングル「ベル2」や「琴1」など。(MP3→WAV要変換)

「ベル2」: VSQplus+ へ行き**サイト内の検索欄**で **ベル** を検索→ベル2

「琴1」: VSQplus+ へ行き**サイト内の検索欄**で **琴** を検索→琴1

- チャイム音の先頭が欠ける**場合があります。この症状は本ソフトに限らずHDMI経由でテレビに音を出力すると、場合によっては再生直後の0.5秒程度だけ音が出ないことがあるようです。このような場合は同封したSilentPlayerKKTの導入をご**検討**ください。

SilentPlayerKKT21.exeが起動するとタスクトレイに音の波形アイコンが表示されます。  
なお、SilentPlayerKKT21.exeとsilent.wav(音源)は同じフォルダに置く必要があります。  
(SilentPlayerKKTのマニュアルを参照ください)

### ・動画

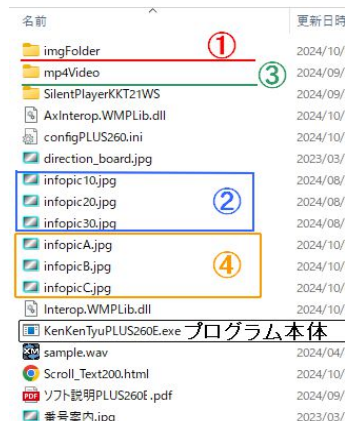
ビデオ表示が可能な操作タイプを用意しました(下図)。再生できる動画は mp4 のみです。  
動画ファイルは起動時から再生が始まりループ再生します。  
複数のファイルの場合はファイル名の昇順で再生されます。  
動画は自動的に比率を維持した最大表示に拡大縮小されます。



動画再生はmp4Videoフォルダ(右図)の③の中にmp4ファイルを入れる必要があります。  
またmp4Videoフォルダ③はKenKenTyuPLUS260E2.exeと同じ場所に置く必要があります。

### ＜備考＞

動画の最初の約10秒間、患者画面に動画が表示されない現象が頻発しました。  
調べてみると、私がサイズを小さくするツールで圧縮した動画がほとんどでした。  
圧縮せず動画の編集でカット・結合だけの場合この症状は出ませんでした。  
これは私の環境に依存するのかもしれませんが。  
別件で操作卓に患者画面を縮小した部分の表示がうまくいかない場合があります。(色が変わったり、コメントが表示されないなど)  
この症状は起動時が多いですが番号を1回でも入力すれば正常に表示されます。



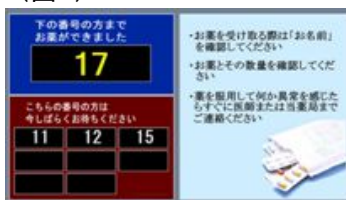
### ・静止画

画像表示が可能なタイプを用意しました。(下図A)(下図D)  
1枚の画像を表示する機能と複数画像を連続再生する機能から選べます。

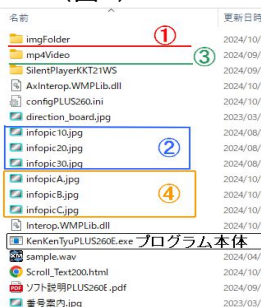
#### (1) 一枚の画像を表示する機能

操作卓○○型Picture(図A)で一枚の画像を表示するにはファイル名をinfopic10.jpg、infopic20.jpg、infopic30.jpg にする必要があります。操作卓4分割(図D)で画像を表示するにはファイル名をinfopicA.jpg、infopicB.jpg、infopicC.jpg にする必要があります。これをKenKenTyuPLUS260E2.exeと同じ場所に置きます。(図B)②④  
次に操作卓○○型Pictureの場合、設定で(図C)infopic10.jpg～30の中から選びます。操作卓4分割の場合は設定(図E)でinfopicA.jpg～infopicC.jpg のどれかを選びます。infopic10.jpg～30、infopicA.jpg～Cはユーザー様が作成可能です。その際は解像度に注意してください。  
infopic10.jpg～30は解像度が1280x1400ドットまたはこの比率(W/H=0.914)たど隙間なく表示されます。  
infopicA.jpg～Cは解像度が1000x480ドットまたはこの比率(W/H=2.08)たど隙間なく表示されます。  
表示領域に合わせて拡大縮小しますが上記比率でない場合、隙間を黒背景にします。画像はjpgである必要があります。  
Infopic??.jpgが存在しなくても設定画面で選べてしまいがエラーにはなりません。

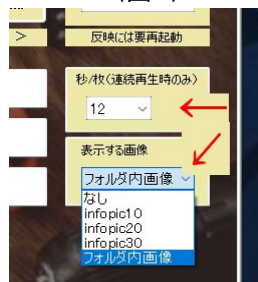
(図A)



(図B)



(図C)



(図D)



(図E)



(2)複数画像を連続ループ再生する機能

- ・操作卓○○型Picture(図A)で連続で画像表示をするにはKenKenTyuPLUS260E2.exeと同じ場所に置かれたimgFolderフォルダ(図B)①の中に画像ファイルを入れ、このソフトの設定(図C)で”フォルダ内画像”を指定する必要があります。  
連続再生は**ファイル名の昇順**で行なわれループ再生されます。  
サンプルではファイル名をimgSample\_風景01.jpg 次にimgSample\_風景02.jpg……として  
います。こうすれば01→02→03→…の順で再生され最後は01に戻りループします。  
画像は解像度が1280x1400ドットまたはこの比率(W/H=0.914)たど隙間なく表示されます。  
画像は自動で拡大縮小されます。比率が(W/H=0.914)でない場合は黒い背景が入ります。  
なお、再生可能な画像形式はjpgのみです。  
また、連続再生時の1枚あたりの表示時間を設定できます。(図C)  
サンプルでは風景写真の連続再生を用意しましたが、ユーザー様が紙芝居形式の画像を用意すれば、たとえば「くすりの豆知識」などの情報を紙芝居形式で提供可能と思います。
- ・操作卓4分割(図D)緑矢印で連続画像表示をするためにはKenKenTyuPLUS260E2.exeと同じ場所に置かれたimgFolderフォルダ(図B)①の中に画像ファイルを入れ、このソフトの設定(図E)の緑矢印の場所を連続画にする必要があります。  
4ヶ所どこでも連続画の指定はできますが、配置は1ヶ所にしかできません。  
連続再生時の1枚あたりの表示時間は(図C)で設定します。  
画像は解像度が1000x480ドットまたはこの比率(W/H=2.08)たど隙間なく表示されます。  
画像は自動で拡大縮小されます。比率が(W/H=2.08)でない場合は黒い背景が入ります。  
再生可能な画像形式はjpgのみです。
- ・スマホで番号確認は文字通り、患者様がスマホで番号を確認できる機能です。この機能は本ソフト内で指定したフォルダにスクリーンショットした番号案内画面を書き出します。  
この画像をOneDriveの共有機能で確認できるようにしています。  
Win10にはOneDriveが標準でインストールされているので、まずはOneDriveを使える状態にします。そのためにはネット環境とマイクロソフトアカウントが必要です。  
その後、本ソフトの設定<図16>⑭でスマホで確認を「する」にして、設定<図16>⑮で**フォルダ**を指定します。このフォルダにはスクショした患者用画面を「**番号案内.jpg**」の名称で書き出しOneDriveで同期共有し**公開**します。  
このマニュアルの最後半に**参考**としてスマホで番号確認のセットアップについて記載していますが★スマホで確認機能はセキュリティの観点から**推奨しません**。  
十分に検討を行い**自己責任**で使用してください。**セキュリティに留意ください★**



【使用方法】 ソフトの起動はKenKenTyuPLUS260E2.exeをダブルクリックします。

●待ち番型の操作 <図1><図2><図3>

待ち番型とは、出来上がった最大番号と、その内でまだできていない番号を表示します。

例「8番までできました。ただし4番6番の方はお待ちください」

<図1>



<図1>①は設定されている開始番号を表示します。開始番号の設定は<図1>⑫から可能です<図16>⑨(関連:図16⑩)開始番号が3001番の時は1番のボタンが3001番となります。

<図1>②患者用モニター上段の番号に表示されるコメントで<図2>⑮になります。

<図1>③患者用モニター下段に表示される待ち番号コメントで<図2>⑲に表示されます。

<図1>④出来上がった最大の番号です。

<図1>⑤待ち番号です。上図では「25番まで出来たけど⑤に表示した番号は待つて！」という意味で待ち番号は大きいものから取得され、8個を超える場合は小さい番号から削られます。

<図1>⑥タグごとに100個のボタンを配置おり計1000個のボタンがあります。開始番号①と組み合わせれば最大9999番まで表示可能です。

<図1>⑦出来上がった番号のボタンを押すとサーモン色になり再度押すと取り消します。

<図1>⑧「ハンコのイラスト」は決定ボタンです。出来上がった番号を押した後はこの決定ボタンを押す必要があります。

<図1>⑧を押すとボタン⑦は黄色に変わり④⑤②④と患者用モニター<図2>⑰⑲へ反映します。患者用モニターで<図2>⑰⑲に変更があった場合その番号のみを点滅するようにできます。その方法は点滅の回数を設定画面で行います。<図16>⑥

<図1>⑨「音符のイラスト」でチャイムを鳴らします。番号に更新がある場合は自動で鳴りますが手動で鳴らしたい時はこのボタンを押します。

<図1>⑩「時計のイラスト」は待ち時間を表示したい場合に押します。クリックすると新しいウィンドウ<図3>が現れるので該当する時間を選択し決定を押します。これで患者用画面に待ち時間が示され<図2>⑱、操作卓にも待ち時間が表示されます。

<図1>⑫「歯車のイラスト」は各種設定を行います。<図16> 詳細は設定参照

<図1>⑬患者用モニター<図2>⑳でスクロールする文を表示しています。スクロール文は設定で変更可能です。<図16>②③

<図1>⑭で終了します。

<図1>⑳患者用画面を縮小して表示します。「決定」⑧と「待ち時間」⑩が押されたときに更新されます。この機能はモニター1台のお試しモードでは番号コメントは表示されません。数字が点滅中に決定ボタンを押すとうまくキャプチャーできない場合があります。

<図2>⑰設定でスマホで確認するを選んでいる場合、この画面が更新されるたびに日時を再表示します。スマホで確認をしない場合は表示されません。

患者用モニター<図2>㉑で操作卓画面に戻ります。このボタンはモニター1台のお試しモ

ード時だけ表示されます。

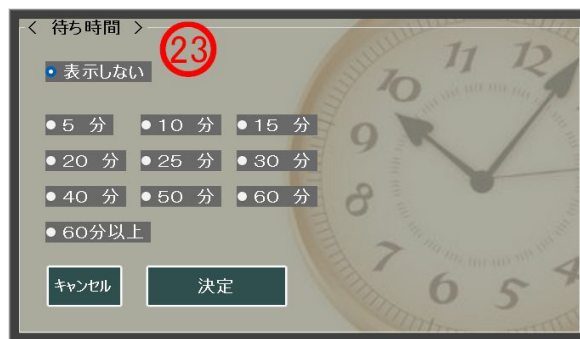
・待ち番型の操作タイプも「表示数オーバーで表示されません」と警告を出すようにしました。  
(次の追加型参照) 待ち番型は大きい数字を優先し8つの枠に入れるため<図1>⑤の枠がいっぱいになると小さい数字が患者用画面に表示されません。この時「～番まで表示されません」と警告を出します。

<図1>①②③⑬<図2>⑮⑰⑱⑳は、設定「歯車の絵」<図1>⑫から設定が可能です。

<図2>



<図3>



#### ●追加型の操作 <図6><図7>

追加型とは、1番からみて初めて不連続になる直前の番号を最大の出来上がりの番号とし不連続番号より大きい出来上がり番号を、さらに出来ている番号として追加します。

例 「4番までできました。さらに6番7番・・・もできています」下図<図6><図7>

<図6>①<図7>②に表示される「追加番号」は小さいものから取得され、8個を超える場合は大きい番号から削られます。

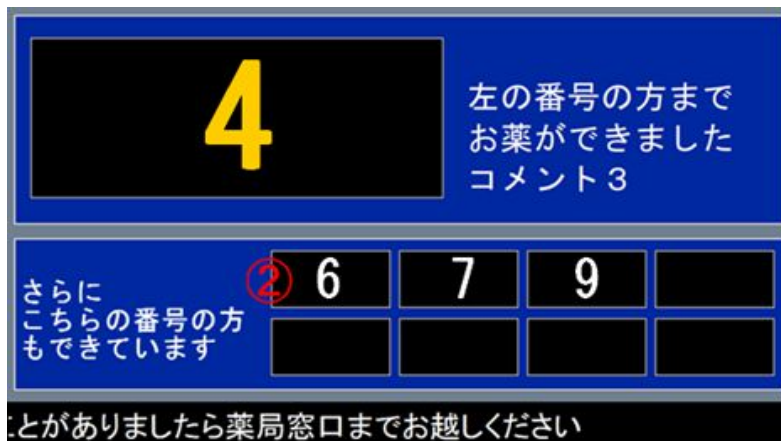
<図6>③は患者用画面のプレビュー

操作に関しては「待ち番型」と同様。患者用モニター表示も同様です。

<図6>



<図7>



追加型の操作タイプに「表示数オーバーで表示されません」と警告がでるようになりました。

追加型での番号の表示方法は例えば「2番までできました。さらに4番5番・もできています」のように追加番号を使い表示します。もしも追加番号が8個をオーバーした場合は表示枠に収まらないため、小さい番号が優先されオーバーした大きい数字は表示されません。



上図で3番は黄色ランプが点灯しておらず、1番から見て最初の未完成番号となります。4番から12番までは完成した番号であり、8個の小さい表示枠に順次入ります。しかし11番(矢印B)で枠8個がいっぱいとなり **12番(矢印A)は患者画面に表示されません**。このようなときオレンジの背景で警告をだします。(矢印C)  
矢印Dは矢印Cの拡大図です。”12番から表示されません”と表示されています。もしも開始番号を1001番～としていけば”1012番から表示されません”と警告がでます。

#### ●手動型 <図10><図11><図12>

待ち番号や追加番号を見つけ出すことはしません。入力した番号を表示します。ただし、ソートを設定することはできません。<図16>⑦  
コメントを変えれば待ち番型や追加型にもなります。下段のコメントを窓口への呼び出し番号に変えるなどして会計窓口などでも使えるかもしれません。

【補足1】患者用モニターに表示するには「掲示板に反映」ボタン<図10>⑤を押す必要があります。操作卓で確認した後に患者用モニターに表示という手順をとっています。数字の間違いに気づいた場合は、その枠を入力モードにしてゼロを入力してください。<図10>①②の表示桁数は4桁で、それ以上を電卓<図10>③で入力しても削られます。

入力はマウスでボタンをクリックするかキーボードで入力することが可能です。以下は対応キーです。

1～9 キーボードの1～9に対応

+C キーボードの+またはCに対応 機能としてはクリア

-BS キーボードの-またはBackSpaceに対応 機能としては右側から1文字削除

キャンセル キーボードのESCに対応

決定 キーボードのEnterに対応

矢印キー(↑→←↓)に対応 機能は入力対象となるボタンを選択する際に枠を移動する。

【補足2】**電卓がアクティブな状態では電卓以外のボタンは押せません**。

<図10>①②のボタンをマウスまたは矢印キーで選択すると背景が茶色に変わり電卓<図10>③がアクティブになります。電卓<図10>③も数字をマウスでクリックするか実物のキーボードで操作します。数字を入力すると電卓内の「決定」の文字と画面中央に「決定を押して」の文字が点滅します。「決定」後、続いて「掲示板に反映」が点滅しますが、**かまわず続けて**番号入力が可能です。<図10>⑤「掲示板に反映」押すと<図10>①や②に入力した番号を患者モニターに反映します。反映するとピンクの背景は黒に変わります。手動型ではソートの有無を指定できます。設定画面<図16>⑦で設定できます。ソートの有無にかかわらず<図10>②の枠内にある空白は削られ左詰めされます。ソート有りの場合は小さい順、ソートなしの場合はそのまま左詰めされます。

「消しゴム」のイラスト<図10>④は一括クリアボタンです。このボタンを押すと<図10>①と<図10>②の数字の全てがクリアされ患者用モニターにも反映されます。個別にクリアするときは<図10>①や②のボタンに電卓で0を入力してください。番号に変更があるとチャイムが鳴ります。手動で鳴らすときは<図10>⑥「音符のイラスト」を押す必要があります。

<図10>⑦「時計」のイラスト:待ち時間を表示する場合に使用します。

<図10>⑧「歯車」のイラスト:各種設定を行います。詳細は<図16>

<図10>の左下隅に患者画面の縮小画像が表示されます。ただし画面1台のお試しモードの場合は番号・コメントが表示されません。

<図10>⑨入力モードの状態です。背景色茶色にinputの文字が表示され電卓<図10>③がアクティブになります。マウスで直接<図10>⑨をクリックするか、矢印で黄色い枠を<図10>⑨に合わせEnterキーで入力モードにします。<図11>に黄色い枠を表示します。



<図10>



上の<図10>⑨ 入力モードの状態です。  
入力モードでは背景茶色にinputの文字が表示され表示され電卓<図10>③がアクティブになります。  
マウスで直接<図10>⑨をクリックするか矢印で黄色い枠を<図10>⑨に合わせEnterで選択する必要があります。次に数値入力となります。  
前述の【補足1】【補足2】を参照ください。  
右の<図11>に黄色い枠のアップ画像を示します。

<図11>



**注意:**

お試しモードで患者画面から操作画面に戻るには「戻る」ボタンを押しますが、このとき上記の<図10><図11>で説明した黄色い枠が矢印で移動しません。  
もちろんマウスでの指定は可能ですが、どこでもいいのでマウスクリックをすると矢印が使えるようになります。  
本来の使い方である2画面使用では問題ありません。  
原因は分かっておりますが修正に手間取っております。  
何卒、よろしくお願いいたします。

<図12> 患者用モニターに表示される画面



●設定 <図16>

- ・<図16>①操作卓タイプを選択します。反映にはソフトの再起動が必要です。
- ・<図16>② 患者用モニター最下段に表示されるスクロール文の選択をします。
- ・<図16>③ スクロール文の編集は直接編集が可能で保存されます。
- ・<図16>④ スクロールの速度の設定です。  
ここでの停止はスクロールが必要のない短い文章のときなどに使用できます。
- ・<図16>⑤患者用画面の「下の番号までお薬ができ～」などの文字を設定します。

この文字は編集が可能。操作卓により文字数や表示部分が異なるため注意が必要。

- ・<図16>⑥番号に変更があったときの点滅回数を設定します。(点滅は患者用画面のみ) 0回から9回まで設定でき、この回数は保存されます。0回は点滅なしです。
- ・<図16>⑦待ち番号のソートの有効無効を設定します(手動型系の操作卓でのみ有効)
- ・<図16>⑧音を選択。ただしchime10、chime20はユーザーで用意が必要です(WAVのみ) 音源はchime10.wav、chime20.wavの名称でKenKenTyuPLUS260E2.exeと同じ場所に置きます。なお、このマニュアル序盤の「その他のインストール関連」も参照ください。
- ・<図16>⑨と⑩で開始番号を設定します。開始番号Aと開始番号Bの反映には再起動が必要です。開始番号AとBは1000番単位の設定となりますので、ここで「1001番～」を選んだ場合はボタンの「1」が1001番になります。  
2系統の番号管理ができる操作タイプでは、開始番号が2系統あります。  
<図16>⑨は上段、<図16>⑩は下段の開始番号設定になります。
- ・<図16>⑪と⑫も開始番号を設定しますが上記と異なるのは、こちらは一括出来上がりとして処理することです。(100番単位での処理)  
例えば朝の業務開始が1501番スタートの場合、開始番号Aを1001番～とし再起動。これでボタン「1」は1001番となります。次に開始番号Cで「500番まで」を選び決定すると1～500番を一括で出来上がりとなりますので、ボタンを500回押す必要がありません。設定は保存されますが開始番号Cと開始番号Dの反映には決定ボタンを押す必要があります。(再起動不要)  
2系統の番号管理ができる操作タイプでは、開始番号が2系統あります。  
<図16>⑩は上段、<図16>⑫は下段の一括出来上がり処理になります。
- ・<図16>⑬患者用画面に連続して画像表示する場合、1枚当たりの表示時間を選択します。これは連続画像を表示する操作卓で共有使用されます。
- ・<図16>⑭患者用画面に単独表示する画像をinfopic10.jpgと infopic20.jpgと infopic30.jpgから選択します。この画像ファイルはKenKenTyuPLUS260E2.exeと同じ場所にある必要があります。この名前の画像が無くてもエラーにはなりません。(表示されないだけ)  
今回はサンプルを添付しましたが原則ユーザー様が作成してください。  
前半の【その他のインストール関連】でも説明しているので参照ください。
- ・連続で画像を表示する場合は imgFolderフォルダの中に画像データ(jpg)をいれます。更に設定画面で「フォルダ内画像」を選べばファイル名の昇順で繰り返し表示されます。  
注意:imgFolderフォルダはKenKenTyuPLUS260E2.exe と同じ場所に置く必要があります。  
前半の【その他のインストール関連】でも説明しているので参照ください。

<図16>

The screenshot shows the settings interface for KenKenTyuPLUS260E2.exe. The interface is divided into several sections with various controls. Red circles and numbers 1 through 21 are overlaid on the screen to highlight specific settings. 1: Operation Type (Manual 4-split). 2: Article 1/2 selection. 3: Blinking frequency. 4: Scroll speed. 5: Comment input field. 6: Blinking frequency. 7: Manual sort. 8: Chime selection. 9: Start number A. 10: Start number B. 11: Continuous image display time. 12: Image selection. 13: Patient monitor resolution. 14: PC monitor resolution. 15: PC monitor resolution. 16: Decision button. 17: Patient monitor resolution. 18: Color selection. 19: Start number B. 20: Start number D. 21: Image selection.

- ・<図16>⑬通常は番号1のまま変更する必要はないと思いますが、操作PCモニターの識別番号が原因で患者用画面を表示できない場合に操作します。

(参考) Windowsではモニターが2つ以上あると各々のモニターに番号が振られます。

Windowsのディスプレイ設定で確認ができます。(右図)

大抵は番号1のモニターがメインモニターで、番号2のモニターがセカンダリーになるのですが、PC機器の構成や設定によっては逆になる場合があります。

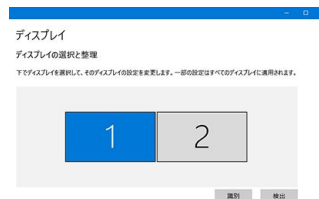
メインモニター 番号2

セカンダリーモニター 番号1 となります。

本ソフトは操作PCの画像は番号1に表示することを標準としているため、通常と逆で操作PC画面が2の場合、番号2のモニターに重なってしまい、番号1のモニターにはなにも映りません。

このような場合<図16>⑬で操作PCの識別番号を「番号2」に変えると改善されます。

注意: 反映にはソフトの再起動が必要です。



- ・<図16>⑭ スマホで確認を「しない」「する」を選択できます。  
スマホで確認とは、このソフトで表示している番号案内の画面をキャプチャーして、ネット上に公開します。モニター1台での**お試しモードではこの機能は使えません**。  
スマホで確認はOneDriveを使っていますのでマイクロソフトアカウントが必要です。  
OneDriveの設定関連はこの説明の最後半に**参考**として記載しております。

- ・<図16>⑮で指定したフォルダに患者用画面をキャプチャーして「番号案内.jpg」の名称で書き出します。また患者用画面に更新日時を表示します。 例: <図2>⑰  
操作卓の「ハンコ」決定ボタンまたは「掲示板に反映」ボタンを押すたびに更新日時を再表示してキャプチャー画面を指定のフォルダに書き出します。



・スマホで確認するを選んでいる場合、本ソフト終了時にカラーパターンを指定のフォルダにコピーします。

実行ファイルKenKenTyuPLUS260E2.exeと同じ場所にあるdirection\_board.jpgを「番号案内.jpg」にリネームしてコピーしているのですが、これは業務終了後にネット上にある引き換え番号を表示しないためです。  
この機能が不要でも変更はできませんが画像を自作すれば内容を変えることが可能です(参考: 右図)



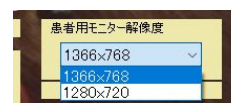
変更は実行ファイルと同じ場所にある direction\_board.jpgを書き換えればOKです。  
画像名は変更できません。direction\_board.jpgは本ソフト起動の必須条件としてあるので名前の変更や削除はできません。

- ・<図16>⑮で指定したフォルダに番号案内の画面を書き出します。キャプチャー画面を「番号案内.jpg」の名称で書き出しOneDriveの同期を使ってネット上に公開しています。  
何らかの理由でここで指定したフォルダが存在しなくなった場合KenKenTyuPLUS260E2.exeと同じ場所に書き出すように自動で変更されます。  
指定した場所に書き込みができない場合、メッセージを表示し再設定を促します。  
OneDriveの設定関連はこの説明の最後半に記載しております。

- ・<図16>⑯キャンセルを選ぶと保存せず操作画面に戻ります。  
変更した部分はキャンセルされます。決定で保存します。



- ・<図16>⑰ 患者用モニターの解像度をWindowsでセットします。(右図) 次に患者用モニターをWindowsで「画面を拡張する」にして下さい。  
さらに本ソフトで設定を行います。<図16>⑱  
Windowsで設定した解像度と同じ解像度を選びます。1280x720または1366x768のを選んでください。  
反映にはこの本ソフトの再起動が必要です。(右図)





- ・＜図16＞⑩ 患者用画面の配色を変更します。  
下図の3種類から選択できその設定は保存されます。次回起動時にも反映されます。  
「手動型4分割」でフォーム配色は無効です。代わりに＜図16＞21で設定が可能です。



- ・＜図16＞①⑨⑩は⑨⑩で説明していますのでそちらを参照ください。
- ・＜図16＞21 「手動型4分割」で番号入力・静止画・連続画像・動画の配置を設定します。  
番号入力では背景色を設定できます。最初のboxで番号になっていないと選択できません。  
番号入力で表示されるコメントは＜図16＞⑤で設定します。コメント(1)は4分割の左上角、コメント(2)は右上角、コメント(3)は左下角、コメント(4)は右下角、に対応します。  
番号入力は4分割の全ての場所に配置可能で、全ての場所を番号入力にもできます。  
静止画ではinfopicA.jpg～Cの画像を設定します。infopicA.jpg～Cは自作でき【その他のインストール関連】も参照ください。最初のboxで静止画になっていないと選択できません。  
静止画は全ての場所に配置可能で、全ての場所を静止画にもできます。  
動画は右下の場所のみ配置可能です。  
連続画像はすべての場所に配置可能ですが、配置が可能な数は1ヶ所だけです。

- 待ち番型Picの操作 ＜図17＞＜図18＞＜図19＞  
前述の待ち番型と操作はほぼ同じです。違いは患者用画面の右半分に単独画像や連続画像を表示可能です。なおスクロール文は使えません。  
＜図17＞① 単独表示の場合はファイル名、連続表示の場合は”infoFolder内の画像”と表示され、その1枚当たりの秒数が表示されます。(単独表示の場合 秒数は無効)  
＜図18＞②のように患者用画面に画像が表示されます。  
＜図18＞②の画像を自作する場合は【その他のインストール関連】をご覧ください。  
＜図17＞③に患者用画面が縮小され表示されます。ただしお試しモードでは番号・コメントは表示されません。ただし画像は表示されます。

＜図17＞





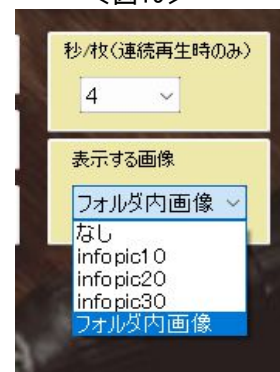
＜図18＞患者用画面



右の＜図19＞は設定画面の一部＜図16＞⑪⑫です。  
ここで画像表示秒数や表示する画像を選択します。

- ・表示する画像は1280x1400ドットまたはこの比率の画像だと隙間なく表示されます。(jpgのみ)
- ・infopic10.jpgと infopic20.jpgと infopic30.jpg を KenKenTyuPLUS260E2.exeと同じ場所に置けば単独の画像として表示できます。  
無くてもエラーにはなりません(表示されないだけ)  
今回はサンプルを添付しましたがユーザー様が作成が可能です。ファイル名は変更できません。
- ・連続で画像を表示したい場合はimgFolderフォルダの中にjpg画像ファイルをいれます。  
設定画面で”フォルダ内画像”を選べばフォルダ内の画像をファイル名の昇順で繰り返し表示します。  
注意:imgFolderフォルダはKenKenTyuPLUS260E2.exeと同じ場所に置く必要があります。  
サンプルを付けました。風景写真は私が撮影したものです。ユーザー様の作成が可能です。  
表示する画像は1280x1400ドットまたはこの比率の画像だと隙間なく表示されます。

＜図19＞



## ●追加型Picの操作 ＜図21＞＜図22＞

追加型の意味や操作は前述の＜追加型＞と同様です。参照ください。  
追加番号の表示オーバーについても追加型と同様です。参照ください。  
Picture表示に関しては＜待ち番型Pic＞と操作は同様です。参照ください。

＜図21＞





<図22>患者用画面



●手動型Picの操作 <図23><図24>

手動型の操作は前述の<手動型>と同様です。参照ください。

矢印キーの操作は<図10><図11>及び冒頭の統合以外のバージョンアップを参照ください。

Picture表示に関しては<待ち番型Pic>と操作は同様です。参照ください。

<図23>



上図のように下部中央に患者画面のプレビューが表示されます

＜図24＞患者用画面



●待ち番型Videoの操作 ＜図25＞＜図26＞

前述の待ち番型と操作はほぼ同じです。違いは患者用画面の右半分に動画を表示可能です。

＜図26＞④ 操作卓にその縮小画像と動画を表示します。＜図25＞①

mp4Videoフォルダに入れた動画を複数または単独でもループ再生します。

動画は原則自作する必要があります（著作権などの問題がない場合を除く）

動画を自作する場合は【その他のインストール関連】をご覧ください。

＜図25＞②にはポーズ、再生ボタンがあります。ポーズボタンを押すと動画が停止しボタンがピンクに変わります。再生再開には再生ボタンを押します。

＜図25＞③は消音と音声出力ボタンです。消音ボタンを押すと音声が消えボタンが緑色に変わります。音声出力ボタンで音声が出ます。

＜図25＞操作卓画面



<図26> 患者用画面



●追加型Videoの操作 <図27>

追加型の意味や操作は前述の<追加型>と同様です。参照ください。  
追加番号の表示オーバーについても追加型と同様です。参照ください。  
Video表示に関しては<待ち番型Video>と操作は同様です。参照ください。

<図27> 操作卓画面





●手動型Videoの操作 <図28>

手動型Videoの操作は前述の<手動型>と同様です。参照ください。

Video表示に関しては<待ち番型Video>と操作は同様です。参照ください。

矢印キーの操作は<図10><図11>及び冒頭の統合以外のバージョンアップを参照ください。

<図28>



●手動型16窓の操作 <図29> <図30>

手動型16窓の操作は前述の<手動型>とほぼ同様です。

1+8個の表示窓が16個になっただけです。操作は<手動型>を参照ください。

矢印キーの操作は<図10><図11>及び冒頭の統合以外のバージョンアップを参照ください。

<図29>操作卓画面



<図30>患者用画面





### ●待ち番型(2系統)の操作 <図31><図32>

基本的には1系統と同じ操作です。上段と下段で2系統の番号を管理できます。

開始番号は設定ボタンから設定でき、<図31>①②に開始番号を表示します。

設定方法は<図31>⑦から行いますが、詳しくは<図16>⑨⑩を参照ください。

1000番単位で設定が可能です。

また開始番号を100番単位で設定する必要がある場合は、“一括出来上がり”を行う必要があります。その方法は<図16>⑩⑪を参照ください。

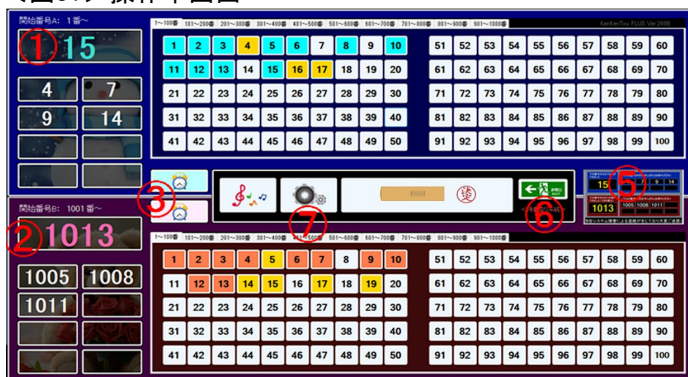
<図31>②下段では開始番号Bを1001番～にしているので1番のボタンは1001番に相当。

<図31>③で上段の待ち時間を入力した場合は<図32>④の様に表示されます。

<図31>⑤ 縮小した患者用画面です。

<図31>⑥でプログラム終了します。

### <図31>操作卓画面



### <図32>患者用画面



迷惑をおかけしております。早期復旧に向け対応中で

●追加型(2系統)の操作 <図33><図34>

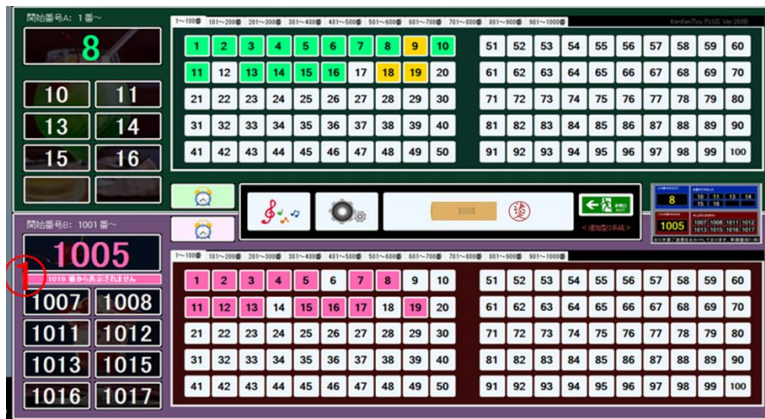
基本的操作は「待ち番型」(2系統)と同様です。開始番号の設定なども同様です。

追加型<図6>も参照ください。

追加番号の表示オーバーについても追加型と同様です。<図33>①

番号ボタンを押すと「ハンコを押してください」の文字が点滅します。

<図33>操作卓画面



<図34>患者用画面



●手動型(2系統)の操作<図35>

待ち番号や追加番号を計算して見つけ出すことはしません。<図35>②のボタンに入力

した番号は空白ボタンを詰めて表示します。

ソートの有無を設定できます。方法は前述の設定の<図16>⑦を参照ください

【注意】患者用モニターに表示するには必ず「掲示板に反映」ボタンを押す必要があります。

操作卓でよく確認した後に患者用モニターに表示するという手順にしています。

＜図35＞①②に入力可能な数字は4桁までです。それ以上入力しても削られます。  
 ＜図35＞①②のボタンを押すと背景がピンクに変わり電卓＜図35＞③が有効になります。  
 電卓内の決定の文字が点滅し、画面中央に「入力後決定を押して」の文字が点滅します。  
 電卓＜図35＞③は数字をマウスでクリックするか実物のキーボードを押して操作します。

以下は対応キー

- 1～9 キーボードの1～9に対応
  - +C キーボードの+またはcに対応(cは小文字) 機能としてはクリア
  - BS キーボードの-またはBackSpaceに対応 機能としては右側から1文字削除
  - キャンセル キーボードのESCに対応
  - 決定 キーボードのEnterに対応
  - 矢印キー(↑→←↓)に対応 機能は入力対象となるボタンを選択する際に枠を移動する。
- 【補足】電卓がアクティブな状態で電卓以外のボタンは押せません。  
 矢印の操作については＜図10＞＜図11＞及び冒頭の統合以外のバージョンアップについてを参照ください。

電卓の決定ボタンを押すと画面中央の「掲示板に反映」を押しての文字が点滅しますが、ここで＜図35＞①や②のボタンを押せば、続けて入力も可能です。  
 「掲示板に反映」を押すと＜図35＞②内に表示されてある番号を患者用モニター＜図36＞に反映します。ピンクの背景は黒に変わります。  
 ＜図35＞②の枠内に入力する際、空白のボタンがあってもかまいません。「掲示板に反映」を押せば空白のボタンはソートの有無にかかわらず削除されます。  
 ソート有の場合は小さい順、無しの場合はそのままの順で表示されます。  
 一括クリアボタン＜図35＞④を押すと＜図35＞①と②のボタン全部がクリアされ患者用モニターにも反映されます。このとき音は出ません。  
 個別にクリアするには＜図35＞①や②に0を入力します。  
 原則、番号に変更があると自動でチャイムが鳴ります。  
 手動で鳴らすときは「音符のボタン」を押す必要があります。  
 ＜図35＞⑥にあるコメント「下の番号～」は設定＜図16＞⑤の(1)～(4)で可能です。  
 スクロール文は設定から変更可能です。＜図16＞②で選択 ＜図16＞③で文章  
 ＜図16＞④でスピードが設定可能です。  
 ＜図35＞⑦待ち時間を設定します。上下段各々に設定可能です。  
 患者用画面では＜図36＞⑧です  
 ＜図36＞⑨患者画面が更新された時間を表示します。これはスマホ通知するときだけに表示されます。

＜図35＞操作卓画面





＜図36＞患者画面



●手動型(4分割)の操作＜図37＞

画面を4分割して各々に番号の入力、静止画表示、連続画像、動画を配置できます。

番号の入力は①の背景黒の部分をクリックすると電卓が表示され、入力後に決定を押すと⑤「掲示板に反映」が点滅します。これを押すと患者用画面に反映されます。

＜図37＞⑮時計をクリックすると待ち時間が表示できます。

＜図37＞⑰コメントは設定＜図16＞でセットでき、＜図16＞のコメント(1)～(4)が対応します。コメント(1)は＜図40＞A(左上角)、コメント(2)は＜図40＞B(右上角)、コメント(3)は＜図40＞C(左下角)、コメント(4)は＜図40＞D(右下角)に対応します。

＜図37＞⑪ 設置してある番号のすべてをクリアします。

＜図37＞⑫ チャイムを鳴らします。

＜図37＞⑬ 設定画面＜図16＞を開きます。

＜図37＞⑭ 終了します。

静止画②は設定＜図16＞21で選択したinfopicA.jpg～Cの画像を表示します。

infopicA.jpg～CはKenKenTyuPLUS260E2.exeと同じ場所にある必要があります。

infopicA.jpg～Cは自作が可能です。解像度が1000x480ドットまたはこの比率(W/H=2.08)にすると隙間なく表示されます。

表示領域に合わせて拡大縮小しますが上記比率でない場合、隙間を黒背景にします。

画像はjpgである必要があります。

静止画の配置は後述します。

連続画像表示＜図37＞③を配置するにはKenKenTyuPLUS260E2.exeと同じ場所に置かれたimgFolderフォルダ＜図38＞①の中に画像ファイルを入れ、このソフトの設定

＜図16＞21で連続画を指定する必要があります。

4ヶ所どこでも連続画の指定はできますが、配置は1ヶ所にしかできません。

連続再生時の1枚あたりの表示時間は＜図16＞⑪で設定します。＜図37＞⑨

画像は解像度が1000x480ドットまたはこの比率(W/H=2.08)だと隙間なく表示されます。

画像は自動で拡大縮小されます。比率が(W/H=2.08)でない場合は黒い背景が入ります。

再生はimgFolder内のファイル名の昇順にループ再生されます。

再生可能な画像形式はjpgのみです。

<図37>



動画<図37>④の配置にはKenKenTyuPLUS260E2.exeと同じ場所に置かれたmp4Videoフォルダー右図③の中に動画ファイルを入れ、このソフトの設定<図16>21で動画を指定する必要があります。その際、配置する場所制限があります。動画は右下の場所<図37>④にしか配置できません。動画はmp4ファイルが再生対象になり、mp4Videoフォルダ内の動画がファイル名の昇順にループ再生されます。

<図37>⑥ 動画を一時停止します。このボタンは動画を配置している場合のみ有効です。

<図37>⑦ 動画の消音をします。このボタンは動画を配置している場合のみ有効です。操作卓と患者用画面には同じ動画が再生されますが、音声は患者用画面の音声を再生しています。操作卓の動画と音声にズレが生じる場合があります。

<図37>⑧ スクロール文を表示されています。スクロール速度に停止が追加されました。<図16>④<図39>で設定が可能です。従来どおりスクロールでも構いません。スクロールの必要のない短い文章や見出しとする場合はご利用ください。使用例、<図40>の「お薬の引き換え番号」の文字を見出しとしています。

<図39> スクロール速度設定を部分抜粋



りましたら薬局窓口までお越しください

<図40>



<図38>

名前	更新日時
imgFolder	2024/10/1
mp4Video	2024/09/1
SilentPlayerKK21WS	2024/09/1
AxInterop.WMPLib.dll	2024/10/1
configPLUS260.ini	2024/10/1
direction_board.jpg	2023/03/1
infopic10.jpg	2024/08/1
infopic20.jpg	2024/08/1
infopic30.jpg	2024/08/1
infopicA.jpg	2024/10/1
infopicB.jpg	2024/10/1
infopicC.jpg	2024/10/1
Interop.WMPLib.dll	2024/10/1
KenKenTyuPLUS260E.exe	2024/04/1
sample.wav	2024/10/1
Scroll_Text200.html	2024/10/1
ソフト説明PLUS260E.pdf	2024/09/1
番号案内.jpg	2023/03/1

## <配置に関して>

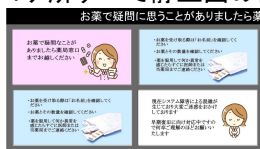
番号入力・静止画・連続画像・動画の配置は設定<図16>21から行います。

## <図41> 設定画面から抜粋

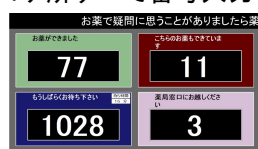


動画は1ヶ所にしか配置できません。しかも場所が限定され<図40>Dのみ可能です。  
連続画像は<図40>ABCDのどこにでも配置できますが配置は1ヶ所のみ可能です。  
静止画は<図40>ABCDのどこにでも配置でき4ヶ所全てに配置できます。  
番号入力は<図40>ABCDのどこにでも配置でき4ヶ所全てに配置できます。

### 4ヶ所すべて静止画の例



### 4ヶ所すべて番号入力の例



### すべてを配置した例



## ●待ち番型 大きい文字の操作 <図42><図43>

患者用画面の大きな文字を最優先とした割り切った操作卓です。

表示可能な番号は4つで、待ち番号は3つしか表示できません。

スクロール文も表示されません。

上下のコメントは各々1行(設定のコメント1と2が対応)です。<図16>⑤参照  
その他の機能は、操作卓「待ち番型」とほぼ同様です。参照ください。

### <図42> 操作画面



### <図43> 患者用画面



## ●追加型 大きい文字の操作 <図44><図45>

患者用画面の大きな文字を最優先とした割り切った操作卓です。表示できるのは4つの番号のみに制限しました。その他の機能は操作卓「追加型」とほぼ同様です。

### <図44>



### <図45>



●手動型 大きい文字の操作 <図46><図47>

患者用画面の大きな文字を最優先とした割り切った操作卓です。  
表示可能な番号は4つで、待ち番号または追加罰b号は3つしか表示できません。  
スクロール文も表示されません。  
その他の機能は、操作卓「手動型」とほぼ同様です。参照ください。

<図46>



<図47>



\*\*\*\*\*

●スマホで確認関連のセットアップについて

設定<図16>⑭でスマホで確認を「する」にして、設定<図16>⑮でフォルダを指定します。そのフォルダにスクショした患者用画面を書きだしネットで公開します。  
以下では**患者用画面**を「**番号案内.jpg**」の名称で書き出し**OneDrive**で同期共有し**公開**することを前提にしています。  
その概要は以下のとおりです。

本ソフトの操作卓で番号を選択(入力)し「決定」を押す。



引き換え番号を映した患者用画面のスクリーンショットを撮るようになってる。



PCのOneDriveのフォルダにその画像を「番号案内.jpg」の名称で書き出す。

↓ これ以降はOneDriveの機能

Web上のストレージにスクショ画像を同期 (共有しているので誰でも見れる)



患者様がスマホ等でWeb上のストレージを見に行く

【★★ スマホで確認機能を使うにあたり留意いただきたいこと★★】

**スマホで確認機能はセキュリティの観点から推奨しません。使用の際は検討を十分に行い自己責任で使用ください。**

番号案内画像に共有をかけネット上で誰でも見れるようにするので、くれぐれも**セキュリティに注意をしてください。**

下記のスマホで確認機能の設定例は間違っていたり、問題があったりするかもしれません。

あくまで**参考**としてください。**ご自身で十分検討**してください。

**設定例の方法で被害が生じても責任は持てません。自己責任で使用ください。**

【 参考:スマホで確認機能の設定例 】

・まずはOneDrive関連を設定します。

タスクの隠れているインジケータを表示すると右図のようなアイコンがありました。雲に斜め線がOneDriveですが現時点では動作していません。  
(アイコンがない場合はタスクの検索ボックスで”OneDrive”と検索すると見つかるようです。)  
雲をクリックするとサインインする画面が出ました。  
次にメールアドレスを入力する画面が出たのでマイクロソフトアカウントを入力しサインインします。

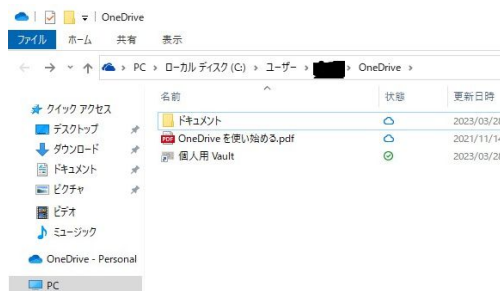




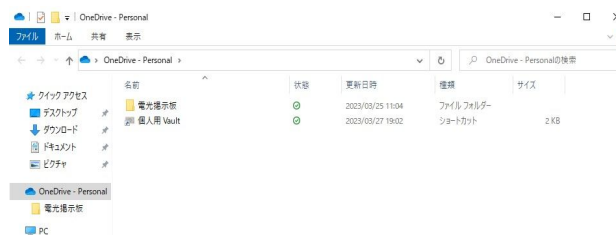
次画面のバックアップの設定は全てオフにして後で行いますを選択しました。



右図のようなファイルがPCのOneDriveフォルダ内にできていました。



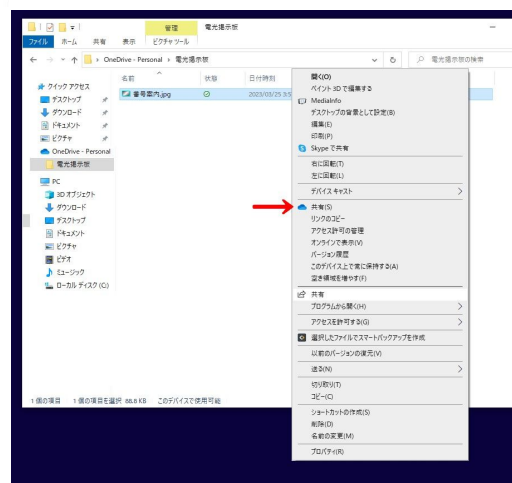
ドキュメントフォルダは削除して「電光掲示板」というフォルダを作りました。フォルダ名は任意。なおドキュメントフォルダの削除は必ずしも必要性ではありません



本ソフトのダウンロードファイルに添付した番号案内.jpg を「電光掲示板」フォルダ内にコピーします。そして今コピーした番号案内.jpgを右クリック。雲マークのある共有を選択

★補足★

番号案内.jpgは添付したものでなくてもかまいません。ただしファイル名は必ず**“番号案内.jpg”**にしてください。



編集ではなく表示にしたいので  
赤←付近の>をクリック。



表示可能を選択し、適応



表示になっていることを確認し  
コピーをクリック。



コピーをクリックし  
メモ帳などにアドレスを保存してください

これでOneDriveの設定と  
共有の設定が終了。  
次にQRコードを作成します。



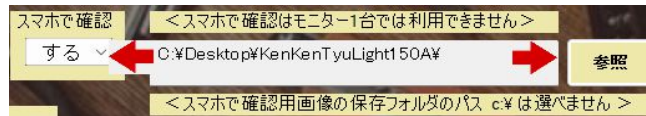
インターネットで”QRコード作成 無料”  
などで検索するとWEB上で変換してくれる  
サイトが見つかり、QRコードを作れます。  
先ほど保存したアドレスでQRコードを作り  
これを印刷して掲示すればネット上の  
OneDriveの共有ファイルに誘導できます。



・本ソフト(番号案内電光掲示板)での設定

設定画面の中段に”スマホで確認”  
という項目があります。  
それを「する」にしてください。

次に参照ボタンで、このPCの  
OneDriveフォルダ内に作った  
「電光掲示板」フォルダを  
選択してください。



以上で終了です

スマホで確認した際の画像を載せておきます。(旧フル版の番号案内ソフトの画像を使用)



---

#### 番号案内電光掲示板 バージョン履歴

- Ver.0.96 勤め先用に作ったものをVectorアップ用に少し一般化しVBで作成。
- Ver.100 機能限定版としてC#で作成。
- Ver.117 待ち番型のほかに追加型に対応、患者用フォームを表示するディスプレイを選択可能にした。モニターの横の解像度で1024ドットの対応はやめた。
- Ver.200 3種の手動型を追加。  
待ち番型と追加型が2系統の番号管理に対応。開始番号を設定可能。
- Ver.200B 今まで使えなかった番号1000番2000番・・・10000番のような1000の倍数を使えるようにした。
- Ver.200E 1台のモニターでも起動できるようにし、操作性や機能の確認が可能とした。  
(画面が重なり実際の運用は不可。あくまで機能確認用。)  
専用スライドショーscrTyu015が起動可能とした。  
config200.txtのファイル名をconfig200G.iniに変更。
- Ver.200G 病院の診察用の番号案内と手動型(2系統)を追加  
手動型の操作・表記など一部変更  
その他、Bug修正 表示方法の一部を変更
- Ver.200G2 開始番号C&D。一括で出来上がり処理ができるようにした。(引換番号の開始番号を100番単位で対応するため)
- Ver.200H 変更のあった番号を点滅可能にした。
- Ver.200H2 手動型で番号入力用ボタンを全9個(大1個 小8個)に増やした。  
手動型2系統で待ち時間を表示できるようにした。  
細かいバグ取り
- Ver.200H3 手動型系の操作卓で待ち番号のソートの有効無効を設定できるようにした  
2系統型の決定ボタンを上段下段まとめて一つにしました
- Ver.200H3.01 患者用画面において一部、待ち時間の表示場所を変更しました
- Ver.200H3.02 二重起動を抑制しました
- Ver.200K1 開始番号C&Dの番号を保存できるようにしました  
画像を表示できる操作卓を3タイプ用意しました。
- Ver.200K2 細かいバグ取り
- Ver.200M1 番号案内をWebで確認できるようにしました。(診察型を除く)
- Ver.200M1.01 待ち番型の患者用画面の変更、待ち時間ボタンの色など  
ソフトが止まる不具合を修正(原因は設定のコメント7～10の改行処理)
- Ver.200M1.02 バグフィックス。マニュアルの訂正。キャプチャーのタイムラグを改善。
- Ver.200M1.02A バグフィックス
- Ver.200M1.02B 患者用モニターの解像度の1280x720専用バージョン
- Ver.200M1.02AB 患者用モニターの解像度で 1280x720と1366x768の両方に対応
- Ver.200M1.88 チャイム音の先頭が欠ける問題に対応
- Ver.200M2.22 患者画面の縮小画像を操作卓の一部に表示するようにしました。  
チャイムの音欠け対応を設定画面から選べるようにしました。
- Ver.200M2.2SNJ2 待ち番型患者用画面を変更。上段コメントを3行にしてフォントも拡大
- Ver.200M2.2SNJ3 Google Chromeでダウンロード時、何故か「一般的ではないファイル」と警告が出る。Zipやexeのサイズが大きいと誤判定の可能性があるらしい。  
scrTyu015添付を中止。silent.wavを小さくし、サンプル画像やpdfファイルのサイズを小さくしました。
- Ver.200M2.2SNJ4 チャイムの音欠け対策ソフトsilent\_play.exeが本体プログラムの終了と同時に閉じるようにしました。  
一部、患者用画面のフォームを変更しました。  
外来診察用の番号案内の使用を中止しました。  
プログラムが煩雑になった部分を見直しました。結果、実行ファイルのサイズが小さくなりました。
- Ver.200M2.5 追加型の3つのタイプに表示数をオーバーしたときに警告が出るようにしました。設定で「患者用モニターの識別番号」デフォルト番号2を「操作PCのモニターの識別番号」に変更しデフォルトも番号1にしました。
- Ver.200M3 3画面を使用する追加型の操作卓を追加しました。



- 表示数をオーバーしたとき、表示されない番号が解るように変更しました。
- Ver.200M3.2 待ち番型も表示数をオーバーしたときに警告が出るようにしました。  
Google Chromeでダウンロード時に警告がでる対策として無音再生ソフトの同封を止め、ダウンロードした対策ソフトをスタートアップに登録することに変更
- Ver.200M3.2SP 無音再生ソフトSilentPlayerKKTの同封を再開しました。
- Ver.200M3.3 無音再生ソフトSilentPlayerKKTの内部起動を止め、必要に応じ外部ツールとしてSilentPlayerKKTVer.2.0を使用することになりました。SilentPlayerKKTは同封。
- Ver.200M3.3C 手動型-患者用表示板の表示不具合を修正。具体的には小さい四角の7番目の番号が点滅後に表示されない不具合を修正。
- Ver.200M3.3D このプログラムが起動中はスリープモードへ移行しないようにしました。  
このプログラムが起動中はモニターの電源を常時ONにしました。
- Ver.200M3.3F レイアウトやその他。
- Ver.200M3.3G 患者用画面の色調を2色から選択可能にしました。
- Ver.260B KenKenTyuPLUSとしてLight版と統合  
操作卓の追加型Type24窓と追加型3画面は廃止  
手動型系で入力の際、キーボードの矢印を使えるようにした。

---

#### 番号案内掲示板Light バージョン履歴

- LightVer.1.0 フル版をGoogle Chromeでダウンロード時に警告が出るため、操作卓タイプを3つにしてスリム化し簡易版を作成してみた。
- LightVer.1.01 一部操作卓のフォームデザイン変更  
追加型の表示数オーバーの表示方法を変更
- LightVer.1.2 Google Chromeでダウンロード時に警告がでる対策としてsilent\_play.exeの内部からの起動をやめました。新規にSilentPlayerKKT.exeを作成。  
SilentPlayerKKTの同封はせず必要に応じスタートアップ登録に変更。  
待ち番型の表示数オーバーの警告機能を追加しました。
- LightVer.1.23 多重起動禁止するプログラムを削除しました。(DL時の警告への対応模索)
- LightVer.1.23B 手動型のフォームデザイン変更と軽微なプログラム変更  
SilentPlayer KKTの同封を再開
- LightVer.1.23C 手動型-患者用表示板の表示不具合を修正。具体的には小さい四角の7番目の番号が点滅後に表示されない不具合を修正。
- LightVer.1.23D このプログラムが起動中はスリープモードへ移行しないようにしました。  
このプログラムが起動中はモニターの電源を常時ONにしました。
- LightVer.1.23F レイアウトその他。
- LightVer.1.23G 操作卓画面にイラストや画像を多く使用しました。  
患者用画面の色調を2色から選択可能にしました。
- LightVer.1.33K 画像表示可能な操作卓を3タイプ追加し計6タイプとしました。
- LightVer.1.50A 動画表示可能な操作卓を3タイプ追加し計9タイプとしました。

---

#### 統合以降

- Ver.260B KenKenTyuPLUSとしてフル版と統合  
操作卓の追加型Type24窓と追加型3画面は廃止  
手動型系で入力の際、キーボードの矢印を使えるようにした。
- Ver.260E 操作卓「手動型4分割」と「大きい文字」3タイプを追加しました。  
スクロールスピードに停止を加えました。  
追加型Videoの表示不具合を修正しました。  
待ち番型、追加型で扱える最大番号を10000から9999にしました。
- Ver.260E-BF 操作タイプ「追加型4分割」の不具合修正しました。
- Ver.260E2 操作タイプ追加型の4種でモニター1台の場合に患者画面が表示されない不具合を修正しました。  
再起動が必要な項目の設定変更があった場合、設定画面からソフトを終了可能にしました。